HOKKAIDO UNIVERSITY

| | |
|---|---|
| Title | 都市社会学 ： 昭和28年度特殊講義案 第9巻 |
| Author(s) | 鈴木, 栄太郎 |
| Description | 東洋大学社会学部大学院社会学研究科講義案。都市の新形態（新しき地域的社会的統一）、 1. 大都市の生活構造（大都市は都市の一群の連合体）、 2. 新しく生じた市は都市か（新興市は都市と村落の一群の連合体）。 |
| Issue Date | 1953 |
| Doc URL | https://hdl.handle.net/2115/77377 |
| Type | manuscript |
| File Information | N018_0112S28.pdf |




Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

NOTEBOOK
HIGH CLASS

# 都市社会学

二十八年度、
特殊講義室
第九巻

## (都市の形態)

あらしき地域的社会的組織

1 大都市の生活構造
(大都市は都市の一種の連合体)

2 新しく生じた市町は都市か、(村落の市は都市と村落の一種の連合体)

S·S

「御堂関白記」に注釈人名索引が
ついて
平凡社 東洋文庫 昭和54年初版発行
P.275

大都市の生活構造

氏家は東京在住の学生諸君へ
次のような参考書を

二、記念構造については大都市も
小都市も同じ

三、大都市が特殊な立地現象
一、大都市は巨大都市により
二、御堂関白記を読む大都市
都市圏内に一つの独立した
統合的記念的統一の存する
3、仁和の御室御所は

機能的な学校をもつ都市よりも

二、中小都市と特定都市との関係

人、都市および地域社会の基礎となるが、各々の関係がそれぞれの独自性が発揮されるためには、二都市内の関係は機関の関係が特に多く、一方の中小都市の諸力関係が相互に作用しあう他の地域との関係は機関的な関係が多い。

b、第一は法把握は衡量都市内の住民はその都市に止って欲しいか、来て欲しいかの法把握としては中心市街地と郊外部の人口(あるいは売場面積)の変化率を比較するだけでは不十分である。

c、都市を持つ様、国と様、国の間の国外も様、都市と中心都市のまわりは地域的に近いため競争が。

史跡の
周辺遺跡は国内にあるが、
運動遠征の記事は、
確認遠征の外地は基本
しも都市名をあしたが、
御堂前の陣営は東が
郭西で（あるから）、遠征前と基本
多い。先法の本拠を記す
ものもある。
一回一文化施設地区で考え
西地区は一文化施設
がなしく区別しがたい。

第十四章

条約国の批准を以て条約は他人的な法律行為となり機関と機関との間の他人的な勧告等のみの機関と共同の二機関の共同行為となるが如きは批准の本質上あり得ないところである。


而して条約は批准により二以上の条約国の意思が合致し、その内容が客観的に一つの統一体を創造するに至るが故に一大社会統一体を形成しそれから生ずる効果は統一体の存在を前提としてはじめて生ずるのであつて、他人の意思が合致しただけでは未だ条約は成立しないのである。

その場合の批准は一般の他人的法律行為の場合と同様に条約の内容と批准の意思表示との間に矛盾のないことを要する。

同の国文化交流センター設立に
地域の国際交流の進展、その他
国内外における文化交流を
はかるとともに、我が国と
なかんづく地域の文化の
向上に寄与することを
目的とする。

（事業）

第二条　財団は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

一　文化施設の共同利用により
都市と地域の交流の増進
二　その他この財団の目的を
達成するために必要な事業

（資産の構成）

第三条　財団の資産は、次に掲げるものをもって構成する。

一　設立者から寄附された財産
二　事業に伴う収入
三　その他の収入

（資産の管理）

第四条　財団の資産は、理事長が
管理する。

（事業年度）

第五条　財団の事業年度は、毎年
四月一日に始まり翌年三月三十一日に終わる。

方針に過ぎないのであるが、その一大統合組織をもつに一つの都市国家から次へと三つに増すのである。この統合的組織は都市とは別の物なのである。

この統一体は実通機関の発達した時代において始めて発生したもので、都市が一定の主要な行政の段階に過ぎない現代は次の型の

ものも組合都市はいつまでも維持した都市であるのではない。

中興都市との関係が緊密であり、
ついにその独立性を失うにいたった。
そこで以上の市域地
区の名称を、次のように改めた。
(左)

市立商業学校地区　市立学校地区(同)
これは御堂都市の住民は皆中心都市の
人々と云う、と思われる。又
横田の同仙小中心都市域と
思われる。以上のほか
市一元港地区の同仙文である。
岩根や城崎等の同仙小についても
(別図)

衛星都市が四つ独立都市と異なる
一つとして学問的な都市を形
階層的が手伝しい戸と同なか
くつれて戸よりも二の同なかくつれ
と戸よのは独立都市と衛星都
市である。経由のリポートを述
べた衛星都市と学術都市の
相異して戸よ那の生はデパート
のない花の戸にまず人口十万前後
で、デパートのない都市は全国で
十二でその内十は関西地方にある。他の二つは名古屋にある。
（都市生活者 P.274-285）

※衛星都市も中心都市との巨離によって独立のまいしの独立のまいしのありかあり、生活様式などはなく都市是と同格の戸よ。※

絆

絆是都市にも中心律のほか、ということ弱で有るなどと言われるが、実は都市の独立性の中心線がかなりはっきりしている。大木実の指定

ような戸よ。

完し中心都市を中心としてこの全体是都市には次の様な統一体を一つの都市と呼おすることができる。この大地域統一体の複雑さを三大地域統一体を一つの都市と呼おすることができる。この大地域的統一は社会的文化が創出された

一、近郊園と遠郊園
二、第二生活圏と第三生活圏
三、都市の採用問題
四、都市の機能
五、田舎の生活様式

居として三様の生活の場としての職場、世帯、休養場所の三つは生活の為に必須の三基本場と考へられる。

交通機関の発達に伴って職場の集中した集落と世帯住居の集った集落が分化し其発生的形態は分離せられるに至り、休養場所の為の集落も出来よう。この交通通信機関の発達するに伴って此三つの集落は完全に分化する事が考へられる。然し大都市な

接続を一つの系統に統一する。
豊中系と山崎系と仰系の
役はそのまま使う。

の問題

之、我らしくなした市は都市も
自然都市は常に行財都市
て心あり。けれども行財都市は
ゆすしも自然都市ではない。
我県の市は行財都市であ
か、自然都市とはなへない。
我県の市は四半分も地域的改
造的統一体である。那とかなり
おもに固執でも。それは都市
の本質的なものでない。基盤
はなるか、その主体は
本質的統一とは
統一かえて

所謂の都市計画事業。行政相互
作用すなわち行政計画に或は
一好ましからざる結果は全く
土地先占の行為は全く作り出
し得よう。けれどもこれは個人の私
有財産は予定しない。近年先
進諸国の行政都市即ち都市は全
く自然の人的協合を形成した
ものである。地方公共団体
と云うお方にあり。
都市の都市は都市を信んでは
貧弱よか、都市ではない。

行政的都市的要件（市となるには）

1. 諸機関が各種一般網羅する（都市である事の必然以上に更に相当の同一の事務処理に）

2. 集落性が離散していない

3. 一位の集落が一都市を形成する事

4. 第二次第三次産業の総和が常に第一次産業より大なる事 ~~全体~~ 即ち第一次産業50%以下である事 ~~全体~~

第二次産業より大である事（北海道では帯広以北の地方都市は該当しない）

第三次産業が20%以上である事。

5. 一集落内の人口が三万以上である事。

（大規模の都市である）

日本の都市は全く人為的政治的作為が作り出した一つの所産として行政区劃に過ぎない。これが為に都市を意味する市と云う名称を与へ行政事務に旧来の市の機能を与へたのみである。

村落区域と何ら異する所なく何の都市的要素も持たないのに都市としての権利義務を与へるのがどうして妥当であるのか。我々は出来た地方平衡交付金制度に於ける合理的な公平を期するとされてゐる。

実施世帯60%以上 人口の1%以上 [illegible] 人口三万に [illegible]

我が国の都市と云うような都市の
行政作用と云うものが事実
面積はもっと広いところには都市
の名を冠するものが多くない。
我が国では市は井崎、自然都市
で、大体行政区域と自然都市
の人口区域は同じであります。
そこで行政都市も自然都市
の動くままに動いて行かなければ
行政都市は全く現実にバランスを
行政運営ができない。
この都市が多くの事務

今の連合は、私たちは、政治の主体者の一人一人の参加の連合体と同じ、多くの市民の連合体であって、共に勇気ある行動をおこす、二十世紀の労働運動の歴史の中で、又、この連合の使命の大きさ、重さを感じます。今の政治家の少なくなった事にも驚きます。勝手に立ち入り禁止区域をつくり、文化の匠屋をおかなくなったのと、生活のお店をしめた市民に足ふみ地域的行動の形成

むすび、又、現代大都市では、
現代大都市は都市と都市の連合体
であり、非正都市と村落
の連合体であり、人の社会関係
の基礎的な単位は「一群の
家族」であるが
むすび、

大都市では次の二様の意味で
後者が統一体を形成しています。
第一中心都市の周辺地域
とともに一つの大都市地域
都市はその周辺の農業
地などをその傘下に収め
た五年の国勢調査で
大都市とは

傘下にある周辺の農業
都市は村落ではなく都市
である。つぎに大都市の
第二次生活地区とは
属する人口が都市
内に有する二次
的消費的圏をいう

ふえる。

平三中へ都系とその分だ
け独男都系とは都系と
都系の関係をもつ子ど。
都系同も横同との関係
生産は仕事は仕事は仕事
その主体は仕事は仕事
生中へ都系は同位で
子ど。